

ふくい経済トピックス（家計編①）

福井県内の消費市場規模や変化を知るには、その大多数を占める家計の状況を把握する必要がある。

そこで、全国の政令市と県庁所在地の世帯を対象に実施されている家計調査（家計の收支状況とその使い道の詳細）から福井市の状況と変化のポイントを紹介していく。

なお、今回の数値は、二人以上の勤労者世帯の平成 20～22 年の調査値平均を、平成 17～19 年の平均と比較するとともに、全国の平成 20～22 年平均値と比較した。

〈収入減で貯蓄に影響〉

二人以上の勤労者世帯の毎月の収入は 583,051 円（賞与を含む）で、平成 17～19 年平均から 28,382 円（4.6%）下回った。これは、平成 20 年秋のリーマンショックの前年に発生した米国サブプライムローン問題により、県内製造業を中心に操業が低下していたことを反映したもので、その内訳をみると、世帯主収入が△70,587 円と大幅に減少したものを、配偶者や家族がパート、アルバイトなどを頑張り、補おうとしたことが窺われる。

家計収入では、全国平均を 58,666 円上回っているが、世帯主収入では 41,647 円下回っていることから、福井の家計は、共働きや高齢者同居による年金収入によって支えられているといえる。

家計収入の減少の中でも、消費支出は若干の上昇を見せ、11,931 円の増加となっているが、大きく減少したのが貯蓄純増額で 117,515 円と、前の 3 年間平均に比べ△35,206 円となった。減少したといっても、全国の 75,855 円に比べると 41,661 円上回っており、貯蓄好きの県民性は変わっていない。

〈教・医・食は増、衣・住は減〉

家計消費支出を項目別に見てみると、前述のような収入減の中でも、支出額が増加したのは「保健医療」（39.1%）、「教育」（33.3%）、「交通・通信」（9.5%）、「家具・家事用品」（8.3%）、「食料」（6.1%）で、診療代や授業料などの支出増が目立っている。

一方で、「住居」（△28.6%）、「被服及び履物」（△26.8%）に関する支出は大幅に減少し、家計収入の減少幅を大きく上回っている。

こちら内訳をみてみると、「被服及び履物」では、和服、洋服をはじめほとんどの項目で減少している。「住居」では、家賃地代、設備修繕・維持の両支出とも大幅な減少となっている。

このような変化は、「収入の減少」と「生活スタイルの変化」によってもたらされている。収入の減少により、外出するより家庭で過ごす時間が増加したことで、「電気」や「食料」といった家庭内で消費する支出が増加した半面「被服」は減少している。一方、ガソリン代などの自動車関係費は、高速道路上限 1,000 円の効果もあり大幅に増加している。

また、通信や家電のデジタル化により、テレビや携帯電話の買い替えが進み、環境意識の高まりとともに長期的な支出削減につながる省エネ・節水型家電への買い替えの動きや

オール電化住宅への改造による給排水工事などへの支出も増加している。

家計調査

月平均の収支（二人以上の勤労者世帯）

	福井市				全国平均	福井市
	17～19年 平均	20～22年 平均	増加額	増加率	20～22年 平均	と全国の 差額
集計世帯数（世帯）	51	50			4,234	
世帯人員（人）	3.52	3.60			3.43	
有業人員（人）	1.74	1.87			1.67	
世帯主の年齢（歳）	48.5	49.6			47.3	
実収入	611,432	583,051	-28,382	-4.6%	524,384	58,666
經常収入	595,969	571,709	-24,259	-4.1%	515,208	56,502
勤め先収入	558,275	518,018	-40,256	-7.2%	490,339	27,679
世帯主収入	452,478	381,891	-70,587	-15.6%	423,539	-41,647
配偶者の収入	75,159	90,970	15,811	21.0%	56,717	34,253
他の世帯員収入	30,637	45,157	14,520	47.4%	10,084	35,074
他の經常収入(事業・年金等)	37,694	53,691	15,997	42.4%	24,869	28,822
特別収入	15,464	11,341	-4,122	-26.7%	9,176	2,165
実支出	433,043	437,012	3,969	0.9%	411,609	25,402
消費支出	333,775	345,706	11,931	3.6%	320,768	24,938
食料	69,320	73,540	4,220	6.1%	70,261	3,279
住居	16,111	11,505	-4,606	-28.6%	19,821	-8,316
光熱・水道	24,317	24,313	-4	0.0%	21,945	2,368
家具・家事用品	9,664	10,465	801	8.3%	10,430	35
被服及び履物	16,014	11,729	-4,285	-26.8%	13,870	-2,140
保健医療	10,256	14,266	4,009	39.1%	11,676	2,590
交通・通信	45,262	49,570	4,308	9.5%	47,785	1,785
教育	12,959	17,274	4,315	33.3%	18,826	-1,552
教養娯楽	28,077	29,027	950	3.4%	33,598	-4,571
その他の消費支出	101,794	104,018	2,224	2.2%	72,556	31,462
非消費支出(税金・社保料等)	99,268	91,305	-7,963	-8.0%	90,842	463
可処分所得	512,164	491,745	-20,419	-4.0%	433,543	58,203
黒字	178,390	146,039	-32,350	-18.1%	112,775	33,264
貯蓄純増	152,722	117,515	-35,206	-23.1%	75,855	41,661
平均消費性向(%)	65.0	70.3			74.0	
エンゲル係数(%)	20.9	21.3			21.9	

ここからは、詳細な品目別に支出が増加しているもの、減少しているものを紹介していく。金額については二人以上の世帯の年間支出額を紹介する。

〈米からパンへ、魚から肉へ〉

食料品の支出で「穀類」では、「米」が 3,464 円(9.7%)減少し、「パン」が 4,243 円(16.2%)増加している。年間支出金額では、「米」が上回っているが、その差は 1,929 円にまで縮まっている。

「魚介類」は、4,978 円(5.4%)の減少となり、特に「鮮魚」が 5,049 円(9.5%)と大幅に減少している。一方で、「魚肉練製品」や「魚介加工品」は増加傾向にある。

「肉類」は、8,846 円(11.5%)と大幅に増加しているが、「牛肉」は 1,828 円(7.1%)の減少となっている。

「乳製品」では「ヨーグルト」が 1,117 円(15.1%)の増加、「野菜・海藻」では「生鮮野菜」が 2,247 円(3.3%)減少し、「野菜・海藻加工品」が 1,119 円(7.3%)の増加となっている。

「果物」は 3,656 円(9.2%)の減少、「油脂・調味料」では「調味料」が増加し、特に「ふりかけ」や「つゆ・たれ」が増加している。

支出が大きく増えたのが「菓子類」で、13,279 円(17.4%)の増加、「調理食品」も大幅に増加しているが、「弁当」、「調理パン」などのコンビニ商品や「天ぷら・フライ」や「やきとり」、「冷凍調理食品」など、共働き家庭が多い本県の特徴を表す、時間を掛けずに用意できる食品への支出が高まっている。

「飲料」では「炭酸飲料」が、「酒類」では「発泡酒等」が伸び、「外食」も若干ではあるが増加している。

家計消費支出(二人以上の世帯集計)からみた県民一人当たり消費額 と県内消費市場推計

品 目 分 類	一人当り消費金額(円)	県内消費市場(百万円)
消費支出	1,150,093	927,515
食料	287,146	231,575
・ 穀類	26,248	21,168
米	9,748	7,861
パン	9,167	7,393
めん類	5,546	4,473
・ 魚介類	26,457	21,337
生鮮魚介	15,529	12,524
塩干魚介	4,676	3,771
魚肉練製品	2,861	2,307

他の魚介加工品	3,391	2,734
・ 肉類	25,880	20,871
生鮮肉	19,498	15,725
加工肉	6,382	5,147
・ 乳卵類	12,561	10,130
牛乳	5,621	4,533
乳製品	4,152	3,348
卵	2,788	2,248
・ 野菜・海藻	32,834	26,480
生鮮野菜	19,610	15,815
乾物・海藻	2,946	2,376
大豆加工品	5,354	4,318
他の野菜・海藻加工品	4,925	3,972
・ 果物	10,925	8,811
・ 油脂・調味料	12,079	9,741
調味料	10,865	8,762
・ 菓子類	26,950	21,734
・ 調理食品	38,373	30,947
主食的調理食品	12,168	9,813
他の調理食品	26,205	21,134
天ぷら・フライ	4,365	3,520
やきとり	1,299	1,047
冷凍調理食品	2,017	1,627
そうざい材料セット	2,398	1,934
・ 飲料	13,881	11,194
茶類	3,303	2,664
コーヒー・ココア	3,146	2,537
・ 酒類	14,322	11,550
ビール	5,359	4,321
発泡酒・ビール風アルコール飲料	2,908	2,345
・ 外食	46,638	37,612

次号は、食料品以外の支出について紹介する。

(福井商工会議所所報 平成 23 年 8 月号掲載)